

JAF 地方選手権もてぎシリーズ第1戦

2006もてぎチャンピオンカップレース第1戦

3月12日 レースレポート



東 徹次郎

Tohjiro Azuma

ついに開幕 2006 年もてぎシリーズ
必勝のシーズン、悔しい12位発進！！

JAF 地方選手権 FJ1600 シリーズ第 1 戦

- 開催日： 2006年3月12日
- 場所： ツインリンクもてぎロードコース（4.801km）
- 天候： 曇り
- マシン名： ASスカラシップR&D尾川（R&D FV2K）
- Car No.： 62
- チーム： AUTOSPORT with Le Beausset



公式予選 (2006/3/12/8:25~)

■ 出走台数：20台 天候：晴れ コース：ドライ

昨年より一ヶ月ほど早く2006年のもてぎシリーズは開幕を迎えた。

そしてまだ冷えた路面状況のなかで20分間のタイムバトルが始まった。

予選の後半に入ろうとしたとき、スリップストリームを使ってタイムアップを狙おうかと考えた。しかしこの時点で3番手ということもあり、混んでいてスピンのまきこまるというリスクもあるので、このまま単独でのベストを狙うことにした。

そして最終アタックに入ったその時、気持ちが先行しすぎて1コーナーのクリッピングポイントをタイヤ1本分外し、逆にタイムロスしてしまった。

この後のセクションは全てベストだったので、結果的にはベストタイムとなったが、まだまだタイムアップできる余地があった。

これは今回最も反省しなくてはならない点である。

結果的に最後に僅かな差で2台にタイムを抜かれ、予選を5位で終えた。

予選結果：5位 (タイム：2 08 . 502)

決勝 (2006/3/12/11:40~)

■ 出走台数：20台 天候：曇り コース：ドライ

さあ、いよいよシーズンを戦ううえで重要な開幕戦の決勝だ。

「1, 2周目で前にいく」、自分の戦略は決まっていた。

シグナルが消えてスタート、

出だしは反応良く前に出ることが出来ました。次々と前方のマシンを交わし、5コーナーのブレーキングでトップに立ちました。私にとって最高のオープニングラップとなります。

しかし予想通り14号車がスリップストリームを使って追いついてきました。

ここからこの2台での各コーナーでの攻防です。

このとき冷静に後方の動きも見えていたので2位から下がる心配はありませんでした。

トップで迎えたファイナルラップ、またもやスリップストリームからストレートで並ばれ、1コーナーで前に出られてしまいました。しかし5コーナーのブレーキングでなんとかインに入ります。が、ちょっと無理があつて軽くオーバーラン。再び2位に転落です。この後離れはしませんがマシンのノーズを滑り込ませるところまでは行かず、悔しい2位でレースを終えました。

決勝結果：2位(ベストタイム：2 08 . 432)



今回の反省

まず予選は、一発タイムを出さなければならない1周にミスをしたことです。これは集中力など自分のメンタル部分と言えます。このようなミスがないよう次戦までにしっかり反省して、自己のコントロールに磨きをかけていきます。

決勝で言えるのは、最後の最後に前の車に合わせられなかったことです。結局ここで前に出られなかったことが敗因でもあるからです。あとは、もう一歩抜け出した速さを身につけることです。やはり理想はぶっちぎりで勝つことなので、第2戦までにまたチームとともに努力していきます。

今後の日程

- 第2戦：4月30日 ツインリンクもてぎ東コース
- 第3戦：7月30日 ツインリンクもてぎフルコース
- 第4戦：10月1日 ツインリンクもてぎ東コース
- 第5戦：11月19日 ツインリンクもてぎフルコース

日本一決定戦：12月17日 ツインリンクもてぎ

最後に

今回も遠くから、たくさんの方々に応援に来て頂き誠に有難うございます。2006年引き続き参戦出来ているのも、自分を支援して下さっているスポンサーの方々や家族、そして応援して下さっている全ての方々のお陰です。

また、当日メールやお電話での応援も本当に心の支えになりました。有難うございます。

今回の開幕戦、FJ初優勝をお見せすることが出来ませんでした。シーズンを考えれば良いスタートを切れたと思います。今回の悔しさをバネに第2戦は必ず優勝のご報告が出来るよう、日々努力していきます。

これからもご支援ご声援の程宜しくお願い致します。

2006年3月12日

東 徹次郎